

3月市議会

日本共産党市議団の質問 議会傍聴にお越しく下さい

豊田民報

豊田市3月定例会市議会が2月22日、開会。会期は、3月19日までの約1ヶ月間です。日本共産党の大村よしのり市議、根本みはる市議は一般質問や予算質問で市民の声をもとに市政に提起します。(下記日程参照) 2人の市議が通告した一般質問の概要をお伝えします。ぜひ、傍聴にお越し下さい。

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一六六
Tel: 三四・四七二
毎週一回発行



根本みはる市議
午後の4人目

2月27日(水)
午後3時30分頃

- ①子ども医療費助成制度の理念
- ②自治体の無料制度の実施状況

子どもの医療費無料化の 18歳まで拡大を

- ・ 県の医療費助成制度を超えて、通院で中学校卒業まで対象を拡大している県内自治体の割合
- ・ 医療費助成を高校生年齢まで、通院・入院とも拡大している自治体、入院のみ拡大している自治体
- ③医療費無料化を18歳まで拡大を
現在の中学卒業までの無料化に要する年間の費用
・ 18歳まで無料制度を拡大した場合に増加する年間の費用
・ 18歳まで無料制度を拡大することへの考え



大村よしのり市議
午後の5人目

2月26日(火)
午後4時40分頃

③防疫について

- ・ 国、県への支援要請、市独自の支援策
- ②補償、支援策について
・ 殺処分した感染被害農家への支援
・ 営農再開に向けた支援
・ 食肉加工業など関連産業への支援
- ①監視体制、早期発見対応
・ 監視体制、早期発見対策と改善点
・ 感染またはその疑いがある場合、獣医師の診断がないときの農家からの届け出義務について

豚コレラの対応について

- ・ 農家への消毒薬の支援
- ・ 防疫資材の備蓄
- ・ 埋却場所の確保

児童虐待への対策

- ①中核市として可能な児童相談所の設置
・ 豊田市として児童相談所の設置を
- ②児童虐待と対応の現状
・ 児童相談所における児童福祉司と児童心理士の体制
・ 児童相談所における児童福祉司1人当たりの児童虐待の相談対応件数
- ③虐待による最悪の事態を防ぐ

子ども園・放課後児童クラブ 充実で子育て支援を

- ④国の制度で子ども医療費の無料化を
・ 県の助成対象を拡大すること
を、県に求める考え
- ・ 全国一律の子ども医療費助成制度を創設することを国に求める考え
- ①子ども園の位置付けと統廃合の基準
・ 中山間地域における子ども園の位置付け
・ 旭地区の児童数の推移と子ども園の状況

- ・ 保護者・地域の意見
- ②子ども園の存続で定住促進を
- ③放課後児童クラブ支援員の配置と基準の検討
・ 放課後児童クラブの民間委託後の支援員不足の実態
- ・ 国が示す支援員配置における参酌基準についての市の検討内容
- ④放課後児童クラブ支援員の処遇改善
・ 支援員の処遇改善についての市・事業者の考え
・ 支援員資格を得るための研修の扱い、研修機会の拡大



県議選・市議選への決意を表明 はげます集いに参加130人

日本共産党豊田市委員会と後援会が17日、統一地方選挙の予定候補を励ます集いを開催。約130名の方々の参加がありました。

後半は予定候補から、市政や県政に挑戦する決意や公約が発表されました。

本多のぶひろ市議選予定候補は、今年の統一地方選と参院選で消費税の引き上げ反対の民意を示していこう、増税するなら富裕層と大企業への優遇税制を見直すべき、と訴えました。市議会では、ぜひ公共バスの拡充や、運転免許証の返納者への敬老パス支給、高すぎる国保税の引き下げ、若者の正規雇用を増やす取り組みをやりたいと話しました。

県政・市政を改革 はげます集い



根本みはる市議は、これまでの取り組み、おいでんバスの路線拡大、防災ラジオの実

現、南部の病院建設の実績などを紹介し、これからは18歳までの子ども医療費無料化、少人数学級の拡大、救急医療の充実を実現させたい、と決意を語りました。

大村よしのり市議・県議選予定候補は、県議会で取り組みたいこととして、県の補助金で国保税1人あたり1万円の引き下げ、山間地域の急傾斜地の崩壊対策拡充、大企業支援より福祉や暮らし、教育を予算の主役に切り替える県政改革を挙げ、県議会に豊田市の選挙区から1つは野党の議席が必要と訴えました。



下請け単価引き上げや賃上げ要求 第40回トヨタ総行動

トヨタ自動車の本社前で11日、宣伝が行われ22人が参加しました。第40回トヨタ総行動の一環で、トヨタに下請け単価引き上げや大幅賃上げ等を求めました。主催はトヨタ総行動実行委員会（事務局は愛労連）。

本共産党の、もとむら伸子衆院議員や大村よしのり市議もマイクで、内部留保を活用して下請け単価を引き上げること、安倍政権・自民党への多額献金を止めることを求めました。根本みはる市議、本多のぶひろ市議選予定候補も参加しました。



訂正 豊田民報2月10日付で、議員報酬も政務活動費も引き上げる答申内容のうち、議員の改定額は、「5万円」ではなく、正しくは「5千円」でした。訂正し、お詫びいたします。